



MIDOSUJI / NAGAHORI / REPORT 40

発行:NPO 法人 御堂筋・長堀 21 世紀の会 / 発行人:成松孝 / 連絡先:EL06-6241-0505 / mail:npong21@hyper.con.ne.jp

おしゃれな大人の散歩まちは...「車の道から人の道へ」の実現から 大阪市・地元商業者・市民団体の協働による御堂筋再編へ



街づくり部会・アフター5の月例会●竹中工務店会議室

**現在、当会の街づくり提言活動の現状は、
主に次のような課題と進捗状況の中で、進行しております。**

自転車道の設置と歩道拡幅について

昨年10月、大阪市が「御堂筋の道路空間再編」計画を発表し、動くかに見えた御堂筋空間整備だが、大阪市の具体案が、基本方針「車重視の道路空間から人重視の道路空間へ」のはずが、新橋交差点以南では、「側道はそのままで歩車道分離のみを第1段階とし、歩道の多機能空間整備は第2段階でやる」と方針を変更。第2段階の時期や最終案は聞かれず、これでは「世界に冠たるシンボルロードの実現はおぼつかない」と、理事長をはじめ街づくり部会は関係各省庁を訪れ、第1・第2段階の最終案の提示を要請している。

新橋交差点以南は3車線が理想

本線について、当会は新橋交差点以南を4車線から3車線にすれば、イチョウの木を守り、停車帯、右折左折レーンも確保できると平面計画を理想的と提案しているが、市は交通警察を意識してか、4車線を堅持。再度3車線案を理想として、関係各省庁に提案していく。

新橋交差点の空間整備について

新橋交差点をシンボル空間として整備することは市も同意。具体的にどうするかはこれからだが、当会は、新橋交差点の南北を一括整備すべきであると、主張している。

理事長の話では

御堂筋再編に関して、各省庁間の足並みは揃っていないが、田中副市長は、「御堂筋を世界に発信して大阪の活性化の一翼とすることは関係部局の共通認識。これを進めるためには、御堂筋全体の民間の受け皿として中之島御堂筋SBJ連絡協議会(会長・成松 孝)を補強し、官民共同で御堂筋活性化を進めていきましょう」と、言っておられる。

地域の共通認識を高めるために、地域連合会や地権者の皆さんに説明に回っていますが、当会提言内容にはほぼ「賛同」の声が聞かれています。「為せば成る」の心意気で頑張りましょう。

平成27年度は部会を充実

今年度は、御堂筋のシンボル化実現への重要な時期。成松理事長は、官民協働による街づくり推進のため、今年度の重点施策に「部会の充実」を加え、部会メンバーを増やして体制強化を図りたい。



政策委員会より

平成27年度の活動に対する提言

理事長直轄諮問機関である政策委員会委員長・高瀬孝司さん(㈱シオ・アカマツ)

は、3月度理事会において、現状の課題と新年度の活動に対する提案を発表。内容は全活動の細部に及んだが、中でも、御堂筋活性化提言の実現に向けた課題は急務と考えられ、理事会では次の案件について熱心に検討された。

●提言実現には、行政が意識する周辺エリアのコンセンサスが必須。沿道地権者、周辺商業者と提携、共闘の組織作りが必要。

●エリアマネジメント組織作りの検討が必要。大阪市は、当会が中心になってエリア運営をすることを期待している。そのためにも地域コンセンサスの構築は重要。沿道地権者と勉強会を開くことも検討課題。現在、博労町～周防町通り間では、沿道企業約45%が当会会員であるが、エリ・マネ受託には沿道地権者の存在が大きく、これを70%以上に持っていく必要あり。

また**現状打破**として、財政基盤の強化、事務局体制の強化、広報活動の機能強化、特定の人への依存度が高い組織構造も検討の余地ありと指摘された。



穏やかに、にこやかに、2015年のスタート 2015年度 新年互礼会開催

去る1月20日(火)午後2時より、ホテル日航大阪にて2015年度新年互礼会を開催。国会議員・大阪府・市議の諸先生方、関係官庁、地域街づくり団体の皆様をご来賓にお迎えし、総勢61名、御堂筋の新らしい道路創造「車の道から人の道へ」の実現に向け、決意新たにスタート!



一会員一社、紹介キャンペーン・実施中 ● 現在会員数 107 社。目標 150 社です。

新入会員さんご紹介

- **花 華 (はなはな)** お好み焼き・鉄板焼き
代表者名 井口 正明
所在地: 中央区東心斎橋 1-13-6
紹介者: ㈱ヴィクトワール 永井俊行
- **橋本 育子 (個人会員)**
所在地: 中央区内本町 2-2-14
紹介者: よそおい粋加 表 光代

税金セミナーと異業種交流の集い

日時: 6月17日(水) 17:00~
場所: ホテル日航大阪
税理士・辻一夫先生の税金をテーマにしたセミナーです。他所では聞けないお話がいっぱい。
詳しくは、会員交流部会のお知らせで。



**税務一筋。
私の経験がお役に立てば**
辻一夫税理士事務所
つじ かずお
所 長 辻 一夫さん

新連載

あんな人・こんな人

会員さんを紹介します



**創業 42 年。
美容・エステ界の老舗**
㈱エクシーズジャパン
ひがし ひろあき
代表取締役社長 東 博昭さん

この春、嶽下勇治さんと共に監査に就任された。「この会はいろいろな業種の人たちが、それぞれの専門知識やノウハウを持ち寄って、民間ベースで非常に高度な提言活動をしている。心斎橋のように、大阪の橋には人の名前がついているが、江戸の昔から、大阪は民間主導でまちづくりをしてきました。この会にはその伝統が生きている。

私は街づくりのことは分からないが、経理処理ならお手伝いできる…」と、監査就任の弁。

辻さんが税理士事務所を開設されたのは平成19年。それまでは大阪国税局の税務調査官。税務調査と聞けば、厳しい、怖い人をイメージするが、「いやいや、僕はアカンたれ」——。よくよく聞けば、アカンたれの隠れた素顔が浮かび上がる。税務の仕事は税法に明るいだけではダメ。あらゆる職業の当世事情、世の中の裏も表も、人情の機微も分からなければできない仕事。法律を盾にガンガンできない辻さんのお人柄が、ご本人にすれば『アカンたれ』になるのだろう。

フランス革命と税の歴史的背景も話されたが、紙面不足。続きは6月のセミナーに譲ります。

エクシーズジャパンは、42年前宮崎県で創業以来、東京・大阪・福岡・四国と拠点を広げ、エステティックサロン専門の総合美容商社として業界を牽引するリーディングカンパニー。

東さんは、九州大学法学部卒、銀行マンからの転職組だ。銭勘定より女性を美しくする仕事を選んで、2003年に、この会社に入社した。「女性がきれいでニコニコしてくれると、男性は元気になれる。日本を元気にするには、女性をきれいにするのが一番」と、入社10年で社長に就任した新進気鋭の47歳。

「美とアンチエイジングへの需要は、女性はもちろん、シニア世代や男性にも高まっている。それに信頼されるモノで応えていけば、美容業界の発展の余地は大きい」と、東さん。

入会の動機は、大阪の気取らない風土と、企業集団で33年間も本格的な街づくりに取り組んでいる、当会のキャパに惚れ込んだからだとか。だから、清掃日に合わせて出張を入れ、東京から新幹線に乗って掃除活動に参加。自由闊達、サービス精神旺盛な九州男児である。